

開催日時：2003年5月27日（火） 15:00～18:40

場 所：カラスマプラザ21 8階 大ホール

参加者数：委員11名、河川管理者16名、一般傍聴者55名

### 1 決定事項

- ・各委員は、説明資料（第1稿）への部会としての意見に追加・修正すべき内容を6月4日（水）までに庶務に提出する。
- ・住民参加に関する他部会や委員会での意見も、住民参加部会からの第1稿への意見に取り入れる。委員は、他部会や委員会からの意見の中で「これは入れるべきでない」というものがあれば、上記と併せて提出する。
- ・上記の委員からの意見およびこれまでの部会・委員会での意見のとりまとめを、庶務より6月9日（月）に部会委員に送付する。
- ・各委員は6月9日に送付予定の意見のとりまとめに対する修正意見を6月12日（木）までに庶務に提出する。
- ・部会長、部会長代理は委員からの意見をもとにして意見のとりまとめの最終修正を行い、第22回委員会（6/20開催予定）にて報告する。

### 2 審議の概要

委員会、他部会の状況報告

資料1「委員会および各部会の状況（提言とりまとめ以降）」をもとに委員会や他部会の状況等について説明が行われた。

「説明資料（第1稿）」および「具体的な整備内容シート（第1稿）」についての意見交換  
）議論の進め方について

部会長より、資料2-1「住民参加部会のこれまでの議論とりまとめ案」をもとに本日第1稿に関する意見交換を一通り終え、6/20の委員会に提出する部会からの意見をまとめたいとの提案があり、上記「1 決定事項」の通り進めることとなった。

）委員会および他部会の議論内容について

資料2-2「住民参加に関する委員会・他部会での意見」をもとに委員会や他部会で議論された住民参加に関わる内容について説明が行われ、その後部会長の提案で上記「1 決定事項」の通り決定した。

）意見交換

資料2-1「住民参加部会のこれまでの議論とりまとめ案」をもとに、これまで部会で議論されていない第1稿の内容（環境、治水、利水、利用、ダム）について意見交換が行われ、「住民が積極的に行動するにはビジョンが必要」「縦割りの協議会では不十分」「河川レンジャーの設置検討会をつくるべき」「ダムの必要性の根拠が次々と変わると住民の不信感がつる」「『見直し・検討』の際河川管理者だけでなく住民も一緒に検討すべき」等の意見が出された。

一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者2名より「5/25の琵琶湖部会一般意見聴取試行の会（若者討論会）で提案をした。結果を他の部会や委員会などでまた議論してほしい」「住民の本音を聴く仕組みが必要/身近な水質検査をしたいと思っているが、やり方を教えてくれる所がない」等の発言があった。

### 3 その他

- ・第6回住民参加部会の日程については、委員会、他部会の状況等を踏まえ後日調整する。
- ・河川管理者より「対話集会を早急に行いたい、重要なキーポイントとなるファシリテーターとして適切な方が思い当たらないので、具体的な個人名でなくても構わないので、ご意見を伺いたい。また、テーマについては、『狭窄部開削の当面未着手』、『河川敷におけるグラウンドの問題』、『川上ダム、余野川ダム、大戸川ダム、丹生ダム、天ヶ瀬ダム再開発の調査検討』、『水供給管理から水需要管理への転換』の4つを考えているが、ご意見を伺いたい」との要望があり、部会終了後、委員と河川管理者で意見交換が行われた。さらに意見が必要な場合には、河川管理者に要望を整理していただき、次回運営会議にて委員会としての対応方法について検討することとなった。

以上

このお知らせは委員の皆様にご会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させて頂くものです。審議の主な内容については「結果概要」、詳細については「議事録」を参照下さい。